



## 歯科医・彌勒寺寛之の 視界良好!

### 第9回 インプラントのススメ③

前回に続き、今回は入れ歯の問題点についてお話ししたいと思います。

その最大の欠点は、「入れ歯の圧力で顎の骨が溶ける」ことです。

入れ歯をつけると、歯ぐきへ力がかかります。

その力はさらに歯ぐきの下にある顎の骨へ伝わります。

その力で顎の骨が溶けます。

その量は1年で約0.5ミリです。

そうすると、もしも20年もの間入れ歯を使い続けたなら、1センチ近くの骨が溶けることになります。個人差はありますが、もしもあなたの顎の骨が1センチ程度だったとしたら、顎の骨のほとんどが無くなってしまうことになりかねないのです。

顎の骨が溶けると、当然入れ歯は合わなくなります。

入れ歯が合っていないので痛みが大きくなります。

ただでさえ噛みづらい入れ歯が、さらに噛みづらくなります。

しまいには、ほとんど食事ができなくなってしまうのです。

これもブリッジ同様、どんなに高い入れ歯を使用したとしても結果はだいたい同じです。

もうおわかりですよ。入れ歯をつけること自体に原因があったのです。数十万円もする高価な入れ歯をつくったとしても、数年で合わなくなることがあるのが入れ歯の現実なのです。

歯が埋まっている骨を「歯槽骨」といいます。もともと歯槽骨は、歯が無くなった後、自然に溶けてしまう特別な性質を持っています。もしあなたが歯を抜いたことがあるなら、その部分は骨が低く細くなくなっているはず。ただでさえ少なくなっている骨が、入れ歯を使うことによってさらになくなってしまうのです。

それなら、「部分入れ歯なら大丈夫」なんて思っているいませんか？ 実は、部分入れ歯は、ブリッジや総入れ歯よりもさらにおすすめできない治療です。

ご存じのように、部分入れ歯と総入れ歯の大きな違いは、金属のバネがついていることです。実はこのバネがとってもやっかいなのです。それは、部分入れ歯のバネのかかっている歯は4年以内に9割以上がむし歯になるからです。

部分入れ歯のバネの周りには、たいへん汚れが付きやすく不衛生です。むし歯や歯周病のバイ菌がたくさんついています。そのため、バネの周囲からむし歯になるのです。また噛む力がバネのかかっている歯にとっても大きな負担になります。噛む力によってバネのかかった歯を、栓抜きのようにしているのです、ぐらぐらになり抜けてしまう確率も増えます。抜けたらまたその前の歯にバネを掛けるので、年々歯が無くなり最後に総入れ歯になります。きちんと取り外してお掃除したとしても、取り外す力と噛む力で歯と一緒に動かされ、徐々にダメになってしまうのです。部分入れ歯であっても、その圧力によって骨が溶かされることは言うまでもありません。

また、最近バネのない入れ歯というものもあります。この入れ歯は保険の効かない高価なものです。バネがついていませんので、笑っても目立たないと一部の患者様には人気があります。でも、入れ歯であることにかわりありません！

ですから入れ歯である以上、歯や顎の骨にかかる負担は変わらないことをご承知ください。

部分入れ歯についてまとめると、

- ・バネをかけた歯が9割以上必ずむし歯になる！
- ・バネのせいで、毎日自分で抜歯への準備をしている！
- ・顎の骨も溶かされている！

このように部分入れ歯は、ブリッジと総入れ歯の欠点を両方兼ね備えた最もおすすめできない治療だと言えます。私が治療の説明を行う時に、決してブリッジや入れ歯をおすすめしない理由がわかっていただけたでしょうか。あなたの大切な歯と骨を、決して失って欲しくないのです。

今回は、ブリッジの問題点と入れ歯の「噛む力」についてお話ししたいと思います。



～著者プロフィール～

みろ歯科院長（2012年10月1日新規開院） 彌勒寺 寛之（みろくじ ひろゆき）

住 所 宇都宮市中央2-4-8 T E L 0120-814-364 (URL) <http://tda86.com>

所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会

日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。

当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

（この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。）

